

粕谷和夫より。コガモの逆立ち採餌です。カモの中でこのような姿勢で採餌するのはオナガガモで、コガモがこのようなポーズをとることは珍しいです。1月11日八王子・湯殿川での1月野鳥カウントでのシーンです。この日のコガモは全部で55羽でした。お目当てにクイナ、ヒクイナには出会いませんでした。

# 紅葉台



# 新聞

第224号

2026年  
3月7日

発行人：関谷 孝

## オーストラリア タスマニア島に行く

岸 麗子  
「元気なうちに行きたいところに出かける」と決意して、タスマニア島に行きました。昨年末に初めての姉妹3人旅。旅が好きだった母の写真も持って行きました。



タスマニアにしたのは、南半球で日本とは季節が反対の初夏。暖かいこと。そして時差が2時間なので時差ボケもなく、何より自然豊かで海の幸が新鮮で食事が美味しいと聞いていました。タスマニア島は、南極に

近いので、偏西風の影響で汚染物質が届きにくく、周辺に大きな工業地帯がないので空気や水が綺麗なのも魅力です。



タスマニア島は、オーストラリア大陸の南に位置する自然豊かな島。手つかずの原生林や美しい海岸線、珍しい野生動物など、見どころがたくさんあります。特に、クレイドルマウンテン国立公園は、雄大な山々と湖の景色が素晴らしいです。タスマニア島には、タスマニアデビルやウォンバットなど、珍しい

固有種の動物がたくさん生息しています。これらの動物たちは、タスマニア島特有の生態系の中で進化してきました。タスマニアデビルは、顔面腫瘍という病気が原因で数が減少し、絶滅危惧種に指定されています。しかし、保護活動の成果もあり、少しずつ回復してきているようです。2022年オーストラリアの研究チームが、タスマニアデビルの顔面腫瘍に対するワクチン開発に成功したと発表しました。このワクチンが実用化されれば、タスマニアデビルの個体数回復に大きく貢献する可能性があります。タスマニアデビルのワクチン開発は、野生動物の病気に対するワクチンとしては世界初の試みです。研究チームは、ワクチンの効果を高めるために、さまざまな工夫を凝らしています。

また、ワラビーがたくさんいて道端で車に引かれているのを目撃しました。ガイドさんによると、「夜道に出てきておっとりしているので犠牲になりやすい」とのこと。しかし、なんとタスマニアデビルが骨まで全部食べてくれるので食物連鎖が上手くできていていつの間にか跡形もなくなってしまうので掃除をする必要がないと言っていました。

映画「魔女の宅急便」の舞台に似ているので聖地になったパン屋さんは、タスマニア島にある「ロスビレッジベーカリー」というお店です。(モデルになったのは、スウェーデンのパン屋さん) 映画に出てくるパン屋さんと同じで、店内も映画に出てきそうな雰囲気です。日本からの旅行者も多く訪れていますが、最近は大変なことであ

り、ほとんど日本人を見かけませんでした。お店の中に入って写真が撮れたのは、現地の日本人ガイドさんのお陰です。ガイドさんは50代の男性。世界を旅して一番気に入ったのがタスマニアで永住権を得、ガイドをしながら家族と共に暮らしているとのことでした。子ども達が通っている学校は教育も日本とは違って実践的で生きる力を育てているそうです。日本の弁当は憧れの的で友達からうらやましがられていたそうです。日本のお弁当は栄養や彩も含めて憧れの的のようでした。現地ではキュウリ1本リンゴ1個が昼の食事になっているのも珍しくないようです。



タスマニア島は、冷涼な気候と豊かな自然に恵まれており、そこで育まれた食材を使った料理が美味しいです。例えば、新鮮なシーフードを使ったフィッシュ&チップスや、タスマニアサーモンのグリルなどが人気です。ワインも、冷涼な気候を生かした白ワインが有名です。私たち姉妹は大のお酒好きなので食事は最高でした！！



タスマニア島は、かつてイギリスの流刑地として使われていた歴史があります。特にポートアーサーという場所は、最も過酷な流刑地のひとつとして知られています。現在では、その歴史を伝える史跡として公開されていて多くの観光客が訪れています。



オーストラリアは南半球にあるので、クリスマスは真夏です。だから、サンタクロースもサーフィンを楽しんでいます。ゴールドコーストなどでは、サーフィンをやるサンタクロースを見ることができるようです。

ほんとおもしろいです。日本の桜に匹敵するのが紫の花、ジャカランダです。花が咲く時期が長く街中を彩っていました。今回の旅は、オーストラリアの州都ホバートに2泊・ロンセストンに2泊宿をとり、食事はスーパーで買った食材を料理したりレストランに行ったりしました。美しい港町で突き抜ける



ような青空と海の幸と自然豊かなところで幸せな時間を過ごせて大満足でした。今までに行った中でもおすすめの所です！ (文責 関谷)



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。